

校長挨拶

橋本 真

躍動を感じる春を迎えました。平成31年度がスタートします。本年度の和光第二中学校は、新入生 177 名を迎え、全校生徒数 424 名となりました。

この度、佐藤 真二 校長の後任として、着任しました橋本 真と申します。よろしく、お願いいたします。

本校には、すばらしい校訓が掲げられています。それは、「正しく 強く 美しく」の3つです。この校訓について、私の考えを述べたいと思います。

まず、一つ目は、「正しく」です。

正しくとは、常に、自分の行動に責任を持つことです。「良いことは、良い。悪いことは、悪い。」と適切に判断して行動をすることです。良いと思ったら、自信を持って、取り組んでください。それが、中学生としての正しさだと確信します。

二つ目は、「強さ」です。

人は、誰でも、困難に直面します。それを乗り越えていかなければなりません。そのためには、体の強さだけではなく、心の強さが、大切になってきます。勉強はもとより、部活動、学校行事、委員会活動、または、日々の何気ないひとつひとつのことを一生懸命に取り組むことです。その中で、粘り強く、努力を続け、やり抜く力を高めていってください。中学校時代の努力の積み重ねが、皆さんの心と体を鍛え、必ず強い人間にしてくれるはずですよ。

最後の三つ目の「美しさ」です。

行き届いた清掃、工夫された掲示物、季節の花が香る、ここ和光第二中学校は、清潔で美しい学校です。これまでの、先輩たちの努力の成果を皆さんに引き継いでいってほしいと思います。また、美しさには、目に見えない心の部分にもあります。どうか皆さんの想像力を働かせて、思いやりや感謝の気持ちを持つ、美しい人になってください。

この3つの校訓のもと、様々なことに、自信を持ってチャレンジしていきましょう。

ここ、和光第二中学校での頑張りが、皆さんの将来を支えてくれる力強い、基礎となると信じています。

さて、5月1日、私たちは、平成から令和の時代を迎えます。この改元という歴史的瞬間を和光第二中学校で立ち会うことができることは、この上ない光栄なことだと思っています。

新しい時代への希望、願い、そして、子どもたち一人一人の可能性を広げていくことは、私たち教職員の使命と心得ています。校訓「正しく、強く、美しく」のごとく、心を磨き、耕し、本校の進むべき道を切り拓いていきたいと思っています。